

# 第 55 期・2014 年度 事業報告書(案)

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

一般社団法人 出版文化国際交流会

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-2-1

Tel.03-3291-5685 Fax.03-3233-3645

<http://www.pace.or.jp>

# 2014 年度事業報告書

## はじめに

会員の皆さまには本年度も年 2 回に分けた会費の一括納入をお願いし、ご理解ご協力をいただきました。ここに改めて厚く御礼を申し上げます。

本会は一般社団法人へ移行して新たな歩みを始めていますが、創立 61 年目を迎えた本年度も移行認可条件である公益目的支出計画の継続事業として第 21 回東京国際ブックフェアに参加しました。1987 年度に始められた独立行政法人国際交流基金との共催事業である国際ブックフェア参加事業は、4 月の第 41 回ブエノスアイレス国際ブックフェアを皮切りに本年度は 17 件の参加となりました。

今年度もソウル国際ブックフェア、フランクフルト・ブックフェアでは単独出展社のお世話をさせていただくと共に独自ブースを設け、日本の出版文化発信の中心的役割を果たしました。第 66 回を迎えたフランクフルト・ブックフェアはテーマ国が「フィンランド」として開催されましたが、本会は昨年と同様、6 号館 2 階に日本会場を構成しました。その中心には日本インフォメーション・センターを設置し、来場者からの様々な要請、問い合わせに応接しました。また共同展示場を隣設し、出版梓会、自然科学書協会、大学出版部協会の出版 3 団体会員社、及びコーナー出展社からの出展図書を、国際交流基金予算により購入の英文版日本関連図書などと共に展示・紹介しました。特に日本出版クラブよりお借りした「東日本大震災関連の図書」は来場者にインパクトを与える展示となりました。

広報活動として、昨年度復刊しました会報は計画通り年 2 回の刊行を実施しました。またホームページの拡充を図るとともに、国際交流基金と共同発行の英文版・日本出版界の実用ガイド *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* を本会が出展参加する国際ブックフェアで重点的に配布しました。

国際ブックフェア関連事業では、海外出版事情視察団の編成をフランクフルト・ブックフェアの開催時期にあわせて実施し、昨年度を超える参加者がありました。

またフランクフルト・ブックフェアのユルゲン・ボース総裁の来日を機に同氏による講演会と懇親会を日本書籍出版協会と共催で実施しました。

1993 年 3 月より導入された納本制度は、会員の皆さまのご理解、ご協力をいただき本年度も確実に実施されました。心より感謝申し上げます。この納本制度による特別賦課会費は、わが国の出版文化の紹介事業に有効に活用させていただきますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

現在は居ながらにして外国の情報を容易に入手できる高度な情報社会を迎えていますが、年間 100 件にせまる国際ブックフェアが世界各地で開催されており、その多くのブックフェアで日本の参加が強く望まれております。一般社団法人として本来的に収益を目的としない本会では様々な経費節減策を講じつつ堅実な運営に努めておりますが、今後も皆さま

のご協力をいただきながら、独立行政法人国際交流基金との共催事業を中心とした国際ブックフェアへの参加に、また出版物を中心とした国際交流事業に更なる努力を重ねていく所存です。

会員の方々、関係機関、諸団体の皆さまのご支援ご協力を改めて深謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

2015年5月28日

一般社団法人 出版文化国際交流会  
会 長 竹生 修己

# 事業報告明細

## I. 国際ブックフェアへの参加

### 1. 出展参加

本年度は本会の独自参加となる東京を含め18件の国際ブックフェアに参加しました。東京を除く地域別としてはアジア3件、中南米5件、中東6件、欧州3件となります。今回も外務省、国際交流基金の方針を反映し中東地域を重点参加地域とした内容になりました。このうち専門家派遣は初参加の香港、事務局派遣はソウルとフランクフルトになっています。

#### (1) 参加国際ブックフェアの一覧

参加した国際ブックフェアの名称、会期につきましては、11ページに纏めましたのでご参照ください。

#### (2) 主要国際ブックフェアの参加状況

##### 1) 第21回東京国際ブックフェア2014

会期：2014年7月2日(水)～5日(土)

会場：東京ビッグサイト

今回も実行委員会の一員として運営に関わると共に、公益目的支出計画の継続事業として独自のブースを持って参加しました。開会式には竹生修己会長が参列し、2日目の夕刻に開催された「第48回造本装幀コンクール」の表彰式には竹内和芳副会長が出席、『日本の型紙』（発行：パイ インターナショナル）に対し本会の賞を授与しました。

本会ブース(10 m<sup>2</sup>)では昨年引き続き海外の出版社によって翻訳出版された会員社の図書とそのオリジナル日本語版図書24点184冊を並列して面展示、来場者の関心を誘いました。また会員約28社38点の出版目録、会社案内を平台に並べて読者に提供しました。

##### 2) 第20回ソウル国際ブックフェア2014

会期：2014年6月18日(水)～22日(日)

会場：COEX 韓国国際総合展示場

主催：大韓出版文化協会

参加国：22カ国(前年20カ国)

出展社：369社 610ブース(前年 610社 835ブース)

会場面積：10,368 m<sup>2</sup>(前年 14,733 m<sup>2</sup>)

入場者数：130,957人(前年 129,110人)

昨年に引き続き新藤雅章事務局長を派遣し、在ソウル日本文化センターと協力して日本ブースの運営・管理から来場者への対応を行いました。今回も販売コーナーを設け、韓国の手書店、教保文庫が日本の図書の販売を実施、前年の2%減ながら150万円の売上げとなりました。特に売れた書籍は料理などの実用書、絵本、韓国でも人気の高い東野圭吾作品、さらに付録付きの婦人誌も好調でした。

また単独出展のポプラ社、トーハンの2社、及び1m幅の展示台に共同出展のオーム社、化学同人、学研ホールディングスの3社については本会が出展のお世話をしました。期間中、韓国はもとより、スペイン、イタリアなどの出版社から展示書籍について引合いがあり、帰国後各出版社に伝えました。

イベント会場では国際交流基金が派遣した作家の朝井リョウ氏と韓国の女性作家チョン・セランの日韓同世代作家の交流トークショーがあり、会場は若い女性を中心に熱気に包まれました。また本会の理事で韓国出版界に精通している舘野哲氏は「韓国の出版物を海外で普及させるためのエージェントの役割」のテーマで開催されたシンポジウムにコメンテーターの一人として参加、流暢な韓国語で聴衆を魅了していました。

### 3) 第66回フランクフルト・ブックフェア

会期：2014年10月8日(水)～12日(日)

会場：フランクフルト国際見本市会場

主催：ドイツ出版社・書籍販売店協会

参加国：101カ国(前年100カ国)

出展社：7,103社(前年7,300社)

展示面積：171,790 m<sup>2</sup>

入場者数：269,534人(このうちトレードビジターは140,921人)

(前年の275,324人に対し2.1%の減、トレードビジターは142,921人で1.8%の減)

会場は国際パビリオンとして5、6、8号館、ドイツ館及び児童書・コミック部門として3号館、また学術・芸術・専門書館として4号館を使用する構成となっています。

前項記載のとおり、出展者数、入場者数はいずれも対前年比微減となり、入場者数は初めて27万人を割込みました。

今年度のテーマ国には北欧のフィンランドがとりあげられました。比較的落ち着いた雰囲気の中、フォーラム館を中心にテーマ展示、作家対談、朗読会等、同国を紹介する多彩なイベントが催され、多くの入場者で賑わいました。

なお、来年の FBF では会場全体の展示構成を変える計画案が主催者より発表されました。それによると 8 号館の使用を止め、英米圏の出展社が 6 号館に移り、それに伴い日本を含むアジア圏の出展社は 4 号館の 1 階に移動することになります。

## 日本の出展状況

日本からは 31 社 5 団体が出展しましたが、出展会場は児童書・コミックの 3 号館、学術・専門書・芸術書の 4 号館、英米語圏出展社の 8 号館、そしてエージェンツコーナーと多岐にわたりました。本会では昨年と同様 6 号館 2 階(Hall 6.1)に共同展示場と単独出展社ブースによる日本会場(展示面積 156 m<sup>2</sup>)を構成しました。以下、出展状況詳細。

### ① 日本共同展示場(40 m<sup>2</sup>)

「日本インフォメーション・センター」(16 m<sup>2</sup>)と展示コーナー(計 24 m<sup>2</sup>)で構成。

「日本インフォメーション・センター」は国際交流基金と本会の共同で運営し、来場者からの様々な要請、問合せに応接いたしました。展示コーナーでは、出版 3 団体である(一社)自然科学書協会、(一社)出版粋会、(一社)大学出版部協会の各展示コーナー、壁面 1m 幅を基本とした出展社のコーナー展示、国際交流基金予算による購入図書 230 点余の展示コーナー、更に「東日本大震災関連の図書」の展示を行いました。

### ② 単独ブース出展

下記 7 社が共同展示場の周囲に単独ブースを構えました。

オーム社、学研ホールディングス、講談社、小学館、日本著作権輸出センター、ディスカヴァー・トゥエンティワン、リードエグジビション ジャパン

出展各社では英文サマリーは元より様々な準備、工夫を凝らして商談に臨んでいますが、終了後のアンケートによりますと、各社のビジネス成果は比較的良いという回答が多く、新しい作品の成約見込みが高い社では 70%という回答を得ました。

### ③ 出版 3 団体による出展

各団体からの出展数は以下の通り。

出版粋会：22 社 55 点

自然科学書協会：19 社 46 点

大学出版部協会：18 部 32 点

合計：59 社(部)133 点

各団体の出展図書のうち自然科学書協会 1 点、大学出版部協会 3 点、出版粋会 1 点について著作権取引の引合いがあり、自然科学書協会の図書については具体的

な商談が進められました。

#### ④ 書誌情報の事前提供

出展図書により有益な書誌情報が提供できるような体制を整えていくこととし、具体的には、昨年度出版3団体の出展図書で始めたJ-Lit（日本文学出版交流センター）のウェブサイト”Books from Japan”上に出展図書の英文書誌情報を掲載し、世界の出版関係者に事前周知するシステムを、同センターのご協力を得て今年度も実施しました。さらにそのカラープリント版を図書ごとにA4判で用意し1冊のファイルにまとめ展示会場で活用しました。

#### ⑤ コーナー出展

1メートル幅のコーナー展示と1社数点単位のコーナー出展には下記6社が申込み、各担当者が精力的に商談を進めていました。

岩波書店、鹿嶋国際著作権事務所、光文社、トーハン、文藝春秋、ポプラ社

#### ⑥ 東日本大震災関連図書の展示

今回は東日本大震災関連の図書31点を特別に展示しました。これは大震災発生時、FBF主催者を始め世界の多くの国々からいただいた心温まるお見舞いや支援に対し、私どもの感謝の気持ちと復興の現状を伝えるという意図を持っての企画でした。

展示にあたっては、震災関連図書の標示板を掲げ、その下に世界の人々からの支援に対する感謝の文言を入れました。展示図書は日本出版クラブが実施した「本の力」展出展図書の一部をお借りしましたが、できるだけヴィジュアルな図書ということで写真集、絵本類が中心となりました。

#### ⑦ 国際交流基金予算による購入図書の展示

英文版の「Books on Japan」関連の図書を中心に230点余を展示・紹介しましたが、会期中最も多くの来場者が訪れた展示コーナーでした「いけばな」に代表される伝統文化や日本語教材に限らず、ユネスコの世界文化遺産に指定されたこともあり和食やガイドブック等の図書へ関心を示す来場者が多かったと言えます。

#### ⑧ 本谷有希子氏朗読会

在フランクフルト日本国総領事館と国際交流基金の共催で若手女流作家、本谷有希子氏の朗読会が2日にわたって市内の工芸博物館とFBF会場で開かれました。FBFでは最終日の10月12日に4号館の特設コーナーで行われましたが、同氏の短編小説『トモコのバウムクーヘン』の朗読、及びドイツの日本研究家であるリサ・ムント氏との対談という構成で、約50名の参加者がありました。

#### ⑨ 「世界で最も美しい本コンクール(Best Book Design from all over the World 2014)」出品図書の特別展示

日本を含む30ヶ国に及ぶ国々からのすべての応募作品について特別展示が4号館で行われました。

#### ⑩ 在フランクフルト日本国総領事館とケルン日本文化会館の協力

坂本秀之在フランクフルト日本国総領事主催の昼食会が市内のイタリアンレストランで10月9日(木)に開かれました。小学館の相賀信宏取締役、干場弓子日本書籍出版協会国際委員会副委員長以下10名ほどの出展関係者が参加し、忌憚のない意見交換が行われました。

特別出展の日本総領事館ブースでは福多彩加副領事、岩佐るみ氏らを中心に将棋、生け花、書道、折り紙等の実演会が開かれ、来場者の人気を博しました。ケルン日本文化会館からは高羽洋充副館長及び金子美環事務局長が展示コーナーにて応接にあたりました。

#### ⑪ ユルゲン・ボース(Juergen Boos) FBF 総裁との会見

開会2日目の10月9日(木)15:30 本会の竹生修己会長、日本書籍出版協会の山本憲央国際委員会委員長以下6名が出席、極めて限られた時間のなか4号館の特別室で行われました。

#### ⑫ いけばなの装飾

今回も(一社)いけばなインターナショナルの全面的なご協力をいただき、日本会場の各ブースに生け花作品が飾られ、日本文化の彩りが添えられました。特に日本インフォメーション・センターに置かれた作品は図書を花材とし、多くの来場者を喜ばせました。

#### ⑬ 医学書院創立70周年の記念パーティー

10月9日(木)19:00よりフランクフルト市中心部にある Hotel Steigenberger Frankfurter Hofで、同社の創立70周年を記念したパーティーが盛大に開催されました。

#### ⑭ 講談社のFBF参加50周年

同社の連続出展参加50回を記念して、FBF事務局より盾と記念品が贈られました。

#### ⑮ フランクフルト・ブックフェアとイタリア4都市の視察ツアー

今回は14名のご参加をいただきました。一行は早川書房の橋野紳一氏を団長としてパブリックデー初日の10月11日(土)に終日FBFを視察、その後イタリアのローマ、ナポリ等4都市を視察しました(昭和図書株式会社、西崎 充氏の視察報告を会報195号に掲載してあります)。

#### ⑯ 次回の会期

第67回フランクフルト・ブックフェアの会期は2015年10月14日(水)~18日(日)となります。

## 2. 国際ブックフェア関連事業

### (1)「フランクフルト・ブックフェア世話人会」の運営

今年度は世話人会の開催を見送りました。

[世話人会委員]



竹生修己(オーム社)、君和田真澄(小学館)、吉田ゆりか(日本著作権輸出センター)、山田奈保(講談社)、沼田雄一(学研ホールディングス)、鹿嶋 明(鹿嶋国際著作権事務所)、横手多仁男(出版文化国際交流会) [順不動、敬称略]

## (2) 海外の出版事情視察団の編成

「フランクフルト・ブックフェアとイタリア出版事情視察コース」(14名参加)

## (3) 「第48回・造本装幀コンクール」後援と「世界で最も美しい本コンクール」応募

本会は1985年(昭和60年)の第20回同コンクールより後援団体として参加しています。今回は『日本の型紙』(発行:パイ インターナショナル)を出版文化国際交流会賞に選定しました。

今回の受賞作品は2015年3月のライプチヒ国際ブックフェア開催時における「世界で最も美しい本コンクール」に応募しました。今回、世界30カ国から585点がエントリーされたなか、梶原 恵、新島龍彦発行の『MOTION SILHOUETTE』が銅賞を受賞しました。日本からの出品図書は3年連続の受賞となりました。

この応募図書は2015年の第67回フランクフルト・ブックフェアの特別展示会場で世界各国からの応募図書と共に展示紹介されます。

## II. 広報活動

### 1. 会報の発行

194号 B5判 16頁 発行:400部

内容:2014年度定時総会報告(役員改選 新会長就任、2013年度事業報告・決算報告)、国際ブックフェア、現場からの報告(第17回リガ、第21回東京、第20回東京、第66回フランクフルト速報)

195号 B5判 12頁 発行:400部

内容:香港BF報告、第66回フランクフルト報告・同視察報告、2015年に開催される主な国際BF一覧

会員、関係団体・機関等に配布しました。

### 2. *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* の配布

英文版・日本出版界の実用ガイド

A5判変型、本文61頁、発行:4,000部(隔年発行)

本会が参加する各国の国際ブックフェアでの配布(各100~300部)を中心に、国際交流基金海外事務所での現地配布資料、来日外国出版人への啓蒙資料としても活用されています。

### 3. 『フランクフルト・ブックフェア』(手引書)

B5判10頁、発行：50部

最新の開催状況を掲載し、会員社、視察団参加者等に配布しました。

### 4. ホームページによる広報

ホームページ上で本会の活動を紹介。会員社を始め、オンライン書店、主要国際ブックフェアホームページへのリンク等の基本情報とともに、国際ブックフェア開催日一覧や派遣専門家の報告、さらにフランクフルト・ブックフェア視察旅行企画の案内等を行なっています。また *Practical Guide to Publishing in Japan 2014-2015* のPDFファイルも掲載しています。

## Ⅲ. 関連活動と報告事項

### 1. 公益法人制度改革

本会は2012年4月1日より一般社団法人に移行しましたが、2014年6月27日付けにて関係法令に基づき2013年度の「公益目的支出計画実施報告書」を内閣府に提出し、受理されました。

### 2. 納本制度による特別賦課会費の報告

1993年3月より導入された納本制度では、本年度は37社(前年度37社)のご協力により4,621冊(前年度4,979冊)、総額6,725,101円(前年度6,787,940円)が特別賦課会費として納付されました。

### 3. 会議記録

定時総会 1回

2014年5月21日(水)

- |       |              |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 2013年度事業報告の件 |
| 第2号議案 | 2013年度決算報告の件 |
| 第3号議案 | 理事・監事選任の件    |
| 第4号議案 | その他の件        |

理事会 4回

2014年5月21日(水)

- |       |              |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 2013年度事業報告の件 |
| 第2号議案 | 2013年度決算報告の件 |

第3号議案 理事・監事選任の件  
第4号議案 その他の件

2014年5月21日(水)

第1号議案 会長(代表理事)互選の件  
第2号議案 副会長互選の件  
第3号議案 専務理事互選の件

2014年11月21日(金)

第1号議案 2014年度上半期事業報告の件  
第2号議案 2014年度上半期決算報告の件  
第3号議案 その他の件

2015年3月20日(金)

第1号議案 2015年度事業計画案の件  
第2号議案 2015年度収支予算案の件  
第3号議案 その他の件

正副会長会議 1回

2015年3月12日(木)

#### 4. 会員の異動 (2015年3月31日現在)

正会員 64社  
特別会員 13社

入会 正会員 なし  
特別会員 なし

退会 正会員 株式会社中央公論新社 (2014年6月13日付)  
株式会社ハースト婦人画報社 (2014年6月30日付)  
株式会社中山書店 (2014年7月28日付)  
株式会社富山房インターナショナル (2014年12月1日付)  
一般社団法人家の光協会 (2015年2月20日付)  
特別会員 株式会社エヌ・ピー・エス (解散)

## 2014 年度参加の国際ブックフェア

国際ブックフェア名	会期	備考
1. 第 40 回ブエノスアイレス国際ブックフェア	2014.4.24～5.12	
2. 第 24 回アブダビ国際ブックフェア (アラブ 首長国連邦)	2014.4.30～5.5	
3. 第 27 回テヘラン国際ブックフェア	2014.4.30～5.10	
4. 第 20 回ソウル国際ブックフェア	2014.6.18～22	
5. 第 21 回東京国際ブックフェア	2014.7.2～5	事務局派遣 (新藤雅章)
6. 第 25 回香港ブックフェア	2014.7.16～22	専門家派遣 (渕上皓一郎・京都大学学術出版会)
7. 第 19 回リマ国際ブックフェア	2014.7.18～8.3	
8. 第 19 回ラパス国際ブックフェア	2014.8.1～17	
9. 第 10 回パナマ国際ブックフェア	2014.8.19～24	
10. 第 23 回サンパウロ国際ブックフェア	2014.8.21～31	
11. 第 66 回フランクフルト・ブックフェア	2014.10.8～12	事務局派遣 (横手多仁男/佐藤佳苗)
12. 第 59 回ベオグラード国際ブックフェア	2014.10.26～11.2	
13. 第 21 回アルジェ国際ブックフェア	2014.10.31～11.9	
14. 第 39 回クウェート国際ブックフェア	2014.11.19～29	
15. 第 16 回モスクワ国際知的図書展 non/fiction	2014.11.26～30	
16. 第 25 回ドーハ国際ブックフェア	2015.1.7 ～17	
17. 第 23 回ニューデリー国際ブックフェア	2015.2.14 ～22	
18. 第 33 回リヤド国際ブックフェア	2015.3.4～14	

[注] 5. 第 21 回東京国際ブックフェアを除き国際交流基金との共催事業

# 決 算 報 告 書

---

自 平成 26 年 4 月 1 日  
至 平成 27 年 3 月 31 日

一般社団法人 出版文化国際交流会

## 貸 借 対 照 表

平成 27 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人 出版文化国際交流会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資 産 の 部</b>			
<b>流 動 資 産</b>			
現 金 預 金	19,729,192	17,229,257	2,499,935
未 収 入 金	6,654,564	8,884,180	△2,229,616
仮 払 金	1,973,462	2,284,734	△311,272
流動資産合計	28,357,218	28,398,171	△40,953
<b>固 定 資 産</b>			
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	1	1	
敷 金	1,632,027	1,632,027	
出 資 金	500,000	500,000	
その他固定資産合計	2,132,028	2,132,028	0
固定資産合計	2,132,028	2,132,028	0
資産合計	30,489,246	30,530,199	△40,953
<b>II 負 債 の 部</b>			
<b>流 動 負 債</b>			
未 払 金	120,995	32,287	88,708
職 員 預 金	138,967	122,250	16,717
流動負債合計	259,962	154,537	105,425
負債合計	259,962	154,537	105,425
<b>III 正 味 財 産 の 部</b>			
一 般 正 味 財 産	30,229,284	30,375,662	△146,378
正味財産合計	30,229,284	30,375,662	△146,378
負債及び正味財産合計	30,489,246	30,530,199	△40,953

## 財 産 目 録

平成 27 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人 出版文化国際交流会

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>( 流動資産 )</b>			
現金	現金手元有高		48,974
普通預金	文化産業信用組合	本店	465,308
	三菱東京UFJ銀行	新宿西支店	17,579,902
	三井住友銀行	神田支店	80,230
	三井住友銀行	神田支店 (納本口)	998,154
定期預金	文化産業信用組合	本店	500,000
郵便貯金	ゆうちょ銀行		56,624
定期積金	文化産業信用組合	本店	
未収入金	国際交流基金	第3次支払申請分	3,309,952
	2社	フランクフルト第2次請求	3,344,612
仮払金		翌期分事業費 (ソウルBF)	1,592,762
		翌期分事業費 (東京国際BF)	380,700
<b>流動資産合計</b>			<b>28,357,218</b>
<b>( 固定資産 )</b>			
<b>その他固定資産</b>			
什器備品	応接セット	1台	1
敷出資	日本出版貿易(株)	事務所敷金	1,632,027
	文化産業信用組合	本店	500,000
<b>固定資産合計</b>			<b>2,132,028</b>
<b>資産合計</b>			<b>30,489,246</b>
<b>( 流動負債 )</b>			
未払金	出版健康保険組合	健康診断料	6,300
	井上理香	臨時アルバイト料	54,464
	出版厚生年金基金	厚生年金保険料	38,106
	料金後納郵便		22,125
職員預金		源泉所得税	66,867
		住民税	72,100
<b>流動負債合計</b>			<b>259,962</b>
<b>負債合計</b>			<b>259,962</b>
<b>正味財産</b>			<b>30,229,284</b>

正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人 出版文化国際交流会  
事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
受取会費	24,815,101	26,467,940	△1,652,839
正会員会費収入	15,150,000	16,770,000	△1,620,000
特別会費会費収入	2,940,000	2,910,000	30,000
特別賦課会費収入	6,725,101	6,787,940	△62,839
事業収益	22,644,789	23,129,504	△484,715
フランクフルトブックフェア参加収入	13,382,660	10,698,956	2,683,704
ソウルブックフェア参加収入	995,616	551,701	443,915
国際ブックフェア参加収入	315,646	498,548	△182,902
国際交流基金預託金	7,950,867	11,380,299	△3,429,432
雑収益	15,860	228,456	△212,596
受取利息	3,860	4,684	△824
雑収入	12,000	223,772	△211,772
經常収益計	47,475,750	49,825,900	△2,350,150
經常費用			
事業費	40,155,298	35,378,865	4,776,433
給与手当	7,943,250	7,838,400	104,850
福利厚生費	1,350,732	1,255,282	95,450
会議費	151,447	183,072	△31,625
旅費交通費	1,112,293	1,488,670	△376,377
通信運搬費	3,300,668	2,797,079	503,589
消耗品費	4,802,792	6,920,125	△2,117,333
印刷費	592,134	1,438,128	△845,994
光熱水料	131,393	131,393	
賃借料	11,602,197	10,615,196	987,001
保険料	27,520	39,040	△11,520
諸謝金	677,134	712,425	△35,291
租税公課	600		600
調査費	55,000		55,000
設営費	7,743,570	1,403,945	6,339,625
交際費	30,171	6,960	23,211
雑費	634,397	549,150	85,247
管理費	7,466,830	7,776,142	△309,312
給与手当	2,744,250	2,737,600	6,650
福利厚生費	150,081	139,475	10,606
会議費	218,262	184,262	34,000
旅費交通費	898,951	837,470	61,481
通信運搬費	935,324	987,732	△52,408
消耗品費	275,861	357,819	△81,958
印刷費	305,039	198,399	106,640
光熱水料	67,687	67,687	
賃借料	629,483	611,996	17,487
保険料	6,631	6,631	
慶弔費	36,200	25,750	10,450
租税公課	95,750	71,200	24,550
調査費	874,595	1,314,706	△440,111
雑費	228,716	235,415	△6,699
經常費用計	47,622,128	43,155,007	4,467,121
評価損益等調整前当期經常増減額	△146,378	6,670,893	△6,817,271
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△146,378	6,670,893	△6,817,271
經常外増減の部			



## 正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人 出版文化国際交流会

事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△146,378	6,670,893	△6,817,271
一般正味財産期首残高	30,375,662	23,704,769	6,670,893
一般正味財産期末残高	30,229,284	30,375,662	△146,378
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,229,284	30,375,662	△146,378

## 財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人 出版文化国際交流会  
事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
有価証券の評価基準及び評価方法について  
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品  
定率法、直接法による減価償却を実施している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

### 3. 担保に供している資産

該当なし

### 4. 保証債務等の偶発債務

該当なし